一般質問

久枝 議員

一、公共下水道事業延長に対する疑問と集落排水・合併浄化槽設置者への補助金等比較と利用者負担増について
二、志佐町栢ノ木主要道路の道路灯設置について

質問

一、(1)管渠だけ布設され接続対象者なしがある。管渠の総延長と電気代等の諸経費は計算されているのか。(2)企業債は、いつからの償還となっているのか。(3)収入は、接続率何パーセントで計算されているのか。(4)今後、公共下水道を延ばさずに、調川、今福、御厨、星鹿各地区に各集落排水設置と合併浄化槽設置を進めたとき、どちらが経済的であるか。(5)合併浄化槽の対象家屋数と市の予算は計算されているのか。(6)公共下水道事業は、今後の人口減少や高齢化を考慮せずに事業継続をするのか。(7)中断しようとしたとき、県や下水道事業団の意向等が左右されるのか。(8)事業継続は、県や事業団に対する約束事なのか。(9)以前負担増はないと答えられたが、現在も同じような考えか。(10)東高校の跡地に企業を誘致するとき、公共下水道がないと誘致に不利になると思うか。大型の合併浄化槽はどのような判断か。

二、栢ノ木主要道路が改良されても道路灯が付かない限り以前と暗さは変わらない。設置を強く県に働きかけて頂きたい。

答弁

一、(1)23年度分も含めて約36キロメートルを整備しています。電気代は、供用区域中の５基のマンホールポンプで月額約２万円程度です。(2)現在据置期間で利息だけを支払う部分もありますが、30年償還であるため年々増加していきます。(3)３年間で65パーセントを目標数値としています。(4)現在、平成12年度に策定した計画の見直し作業をしています。(5)事業費の問題については、策定後お示しいたします。(6)基本計画は、進捗状況や今後の財政事情からみて見直しを必要とすることから、現在、専門業者に調査をさせているところです。(7)公共下水道事業は、継続していくというのが基本的な考えです。(8)認可を受けて整備を進めていることから国、県に対する約束だと思っております。(9)事業継続中に下水道料金を見直すことはありません。(10)一般論として未整備であればマイナス要因ですが、現時点では整備の見通しがないことから、このことを踏まえたうえでの誘致を進めていきます。

二、地区の皆様の意見も集約しながら県に対して要望してまいります。

一般質問

崎田 議員

一、県立松浦高校の最終志願倍率の発表を受け今後の取組みについて
二、公営住宅、定住促進住宅整備について

質問

一、市内には松浦東高校と松浦高校の二校があったが、昨年３月をもって松浦東高校が閉校となった。県の教育委員会統廃合担当の説明によれば、三年間続いて志願倍率が下回ると、四年目には統廃合の俎上に上り、五年目からは粛々と統廃合に向けた動きになるという。２月22日の新聞によると全日制最終倍率1.1の中で、松浦高校の志願倍率は昨年の0.5倍、今年の0.5倍と下回っている。東高校の二の舞にならないためにも行政、ＰＴＡ、同窓会、地域が一丸となって早期の対策が必要だと思うが、市長の考えを伺います。

二、市内の公営住宅や定住促進住宅と比較して今福地域の住宅の状態はどうか。公営住宅長寿命化計画を策定して今福の公営住宅、定住促進住宅の計画を進めるとのことであった。東部工業団地完成後の従業員の定住促進住宅としても必要と思うが、市長の考えを伺います。

その他に東部工業団地造成事業と国道及び市道の出入り口について、松浦バイパスからの松浦駅前周辺と道路の整備について質問しました。

答弁

一、松浦高校は市内唯一の高校であるということから存続をさせなければならないと強い思いを持っています。市教育委員会としても松浦高校と教育委員、あるいは市内の学校長、同窓会等と定期的な意見交換など今後の松浦高校の在り方について協議や提案がなされているということですので、市としてもどういう支援ができるか早い時期に協議をし、県の教育委員会とも話をしていこうと思っております。

二、今福地域の住宅事情というのは大変厳しいものがあろうと思っています。公営住宅の長寿命化計画を24年度に策定するようにしており、この計画の中で具体的な内容について決めていくこととしております。特に今福地域の住宅をどうするかということについては、東部工業団地の問題とか26年度に西九州自動車道が供用開始になるということですので、しっかりと計画を立ててその実行に移していければと思っております。